

人と音を結ぶ
Classic Nagoya
クラシック名古屋
平460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
<http://clanago.com>

プレイガイド
アイ・チワット
0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル®

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベント企画制作・マネジメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネジメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市東区葵2-11-22 アバンテージ葵ビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: <http://www.mane-pro.com>



日本舞踊花柳流の中核・花柳朱実が8月9日(午後2時)芸術創造センターで第24回「朱ざくら会」を開催。公演は3部構成。「Z世代の伝統芸能」と題した第一部は、長唄・杵屋三

若葉・和菴香・朱留瑠の会主・内田るり千鶴

8月9日 芸術創造センターで
花柳朱実「朱ざくら会」



竹本知子(筝曲)、西川真乃女ら迎え

「風流船揃」、朱渚の「玉屋」、新名取・朱希輝の「新鹿の子」ほか。

第3部(午後6時)は朱実のリサイタル。最初の「雪の降る街を」は朱

「風流船揃」、朱渚の「玉屋」、新名取・朱希輝の「新鹿の子」ほか。

第3部(午後6時)は朱実のリサイタル。最初の「雪の降る街を」は朱

竹本知子による筝曲演奏。

締めは昨年度の愛知県芸術祭賞を受賞した竹本知子による筝曲演奏。

朱実のリサイタル。

朱実のリサイタル。

朱実のリサイタル。

朱実のリサイタル。

朱実のリサイタル。

内田流「るり千鶴会」は8月10日

名古屋能楽堂

日本舞踊内

田流の主軸、

内田るり千鶴

が8月10日

(正午)名古屋

能楽堂で第10

回「るり千鶴

会」を開く。コ

ロナ感染症に

遮られ、正式

な公演は6年

振りになる。

るり千鶴は6歳から内

田流初代家元・るり子に

師事。1972年、11歳に

して初舞台を踏み、同年

名取師範の許諾を得た。

91年、30歳で「るり千鶴

会」を立ち上げ、96年に第

1回公演を開催。以来3

年に一度の公演を継続

し、第10回の節目を迎えた。

田有美を迎えて、一門の22

た。

今回は三代目家元・内

田流の主軸、

内田るり千鶴

が8月10日

(正午)名古屋

能楽堂で第10

回「るり千鶴

会」を開く。コ

ロナ感染症に

遮られ、正式

な公演は6年

振りになる。

るり千鶴は6歳から内

田流初代家元・るり子に

師事。1972年、11歳に

して初舞台を踏み、同年

名取師範の許諾を得た。

「人生の先輩に導かれ、

後輩に後押しされて歩み

続けることができまし

た。伝統芸能の衰退が懸

念される昨今ですが、若

い三代目・有美家元を迎

え、時流に押し流され

ることのない、内田流の底

力を感じていただければ

嬉しい」と語るるり千鶴

だ。

全自由席2000円。

TEL 052(508)509

5リマネージメント・ア

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

吉見優子の創作バレエをメインに

7月29日 芸創で「ゆうこ♡バレエ」公演

三重県の四日市市、桑

名市、愛知県の愛西市、

稻沢市でスタジオを展

開。創作バレエに定評の

ある「ゆうこ♡バレエス

タジオ」が、7月29日(午

後4時30分)名古屋市芸

術創造センターで第28回

公演を行う。マーンにな

るのは昨年初演し好評を

博した創作バレエ「さん



名古屋市文化振興事業団設立40周年記念企画公演



演出、和洋折衷の音楽も楽しい。後者は「オセロゲームからヒントを得た」(吉見)コンテンポラリー。白(善)と黒(悪)との攻防戦をバレエで表現する。白と黒リバーシブルの衣装を考案中」とか。

「公演を重ねるごとに、生徒たちの表現力が増しています。創作バレエの

つかてしまつたひとが夢にあらわれたわたしを見つけて遠くから手をふつてくれた驚きと恐怖で動けないわたしに覚えのある美しい声でその人が言った『とても幸

せです』など:(境界線の記憶)ほか。言葉を紡ぎ出し、言葉を語る、様々な形態で独

自の世界観を描出するヴァイス・パフォーマー白樺八青(やお)が、7月23日午後2時から、昭和区桜山のハレ・ルンデで想う瞬間(とき)を開く。

八青は1982年のミュージカル出演を切っ掛けにエンターテインメント界に参入。作曲家・大野栄潤、声楽家・美口啓子らに触発されヴァイオリン(とき)を演奏。主役語(2020年)に続く第2弾である。

源平が覇権を競った「二ノ谷の合戦」で、熊谷直実に討たれた平敦盛と櫻山のハレ・ルンデで想う瞬間(とき)を開く。

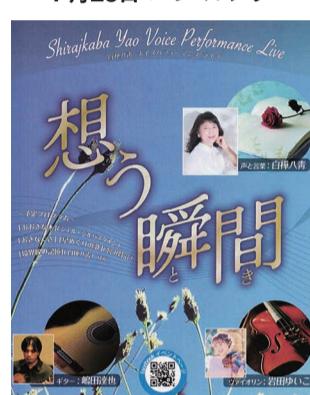
八青は1982年のミュージカル出演を切っ掛けにエンターテインメント界に参入。作曲家・大野栄潤、声楽家・美口啓子らに触発されヴァイオリン(とき)を演奏。主役語(2020年)に続く第2弾である。

この種のドラマを見聞した。ちょうどその日に見たのが俳優館公演「沖なつた少女」(5月18~21日・栄能楽堂)である。

この種のドラマを見聞した。ちょうどその日に見たのが俳優館公演「沖なつた少女」(5月18~21日・栄能楽堂)である。

イスパフォーマー白樺八青「想う瞬間」

7月23日 ハレ・ルンデ



魅力を、さらに多くの皆さんに感じ取っていただきた」と力をこめる吉見。バレエコンサートで

は、スタジオの主力がグランド・パ・ド・ドゥで研鑽(けんさん)の成果を見せる。

全自由席1000円。TEL 052(508)5095、マネージメント・プロ。

カリストとしても頭角。

詩エッセーなど執筆活動にも力を注いでいる。

今回は盟友のギタリスト嶋田達也と気鋭のヴァイオリニスト岩田ゆいことの共演で、心にどどまる詩や物語を多面的

に立ち上げる。

プログラムは「おおきな木」(シェル・シルヴァ

スティン)、宮沢賢治の「おきなごさ」、バッハの

曲に合わせてラップのよ

うに語る「そのおどこ」

(谷川俊太郎)、自作の「境

界線の記憶」ほか。

主役語(2020年)に続く第2弾である。

源平が覇権を競った

「二ノ谷の合戦」で、熊谷

直実に討たれた平敦盛と

敵國の兵士ではなく、日

本員が同じ柄の衣装を着け個を封印。ドラマの普遍性を際立てる。

この種のドラマを見聞した。ちょうどその日に見たのが俳優館公演「沖なつた少女」(5月18~21日・栄能楽堂)である。

